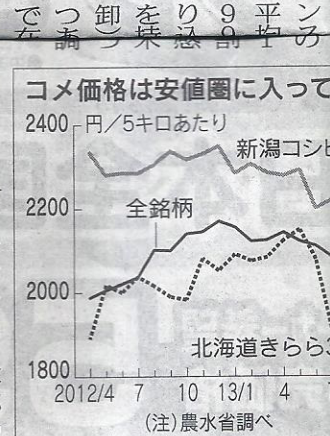


# コメ、値下がり続く

## 10月 1年半ぶり2000円割る



米が前年より安値に落ち、10月店値をみると、新に管をみると、平均価格の10月の25.2142に比して7.6高値(円)、秋田産需要は2007年7% (1450円)が中心で、前年に比

米が前年より安値に落ち、10月店値をみると、新に管をみると、平均価格の10月の25.2142に比して7.6高値(円)、秋田産需要は2007年7% (1450円)が中心で、前年に比

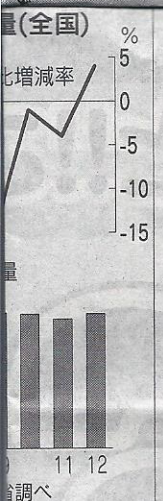
# クロマグロ

## 未成魚漁化 正式決定

オーストラリアで開いた国際的な資源管理機関「中西部太平洋まぐろ委員会(WCPFC)」の年次会合が6日に閉幕し、資源枯渇が不安視されるクロマグロの未成魚(3歳以下)の漁獲の漁獲枠を02

オーストラリアで開いた国際的な資源管理機関「中西部太平洋まぐろ委員会(WCPFC)」の年次会合が6日に閉幕し、資源枯渇が不安視されるクロマグロの未成魚(3歳以下)の漁獲の漁獲枠を02

# 値上げ広がる



未成魚は「メジマグロ」と呼ばれる割安な刺し身商材のほか、養殖にも使う。韓国の漁獲の大半は日本で食用として消費される。ただ日本、韓国とも過去3年間の平均漁獲量は新しい漁獲枠内にとどまっており、これまで通りに取れる。供給や価格面に大きな影響はなさそうだ。

未成魚は「メジマグロ」と呼ばれる割安な刺し身商材のほか、養殖にも使う。韓国の漁獲の大半は日本で食用として消費される。ただ日本、韓国とも過去3年間の平均漁獲量は新しい漁獲枠内にとどまっており、これまで通りに取れる。供給や価格面に大きな影響はなさそうだ。

# 銅スクラップ、高値水準

## 買い取り価格 10カ月ぶり

銅スクラップの再生原料となる伸銅品の再生原料となる銅スクラップの買い取り価格が上昇している。指

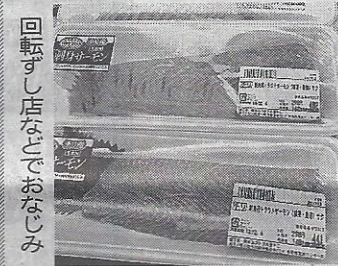
銅スクラップの再生原料となる伸銅品の再生原料となる銅スクラップの買い取り価格が上昇している。指

# チリ産トラウト

## 卸値2倍弱に

病害などで供給が減っているチリ産トラウトサーモンが高い。刺し身原料となる三枚おろしの卸価格は1.5000円程度で前年同期の2倍弱。同じチリ産のアトランティックサーモン(大西洋サケ)の割安感が強まり、一部の小売店で切り替える動きが出ている。

病害などで供給が減っているチリ産トラウトサーモンが高い。刺し身原料となる三枚おろしの卸価格は1.5000円程度で前年同期の2倍弱。同じチリ産のアトランティックサーモン(大西洋サケ)の割安感が強まり、一部の小売店で切り替える動きが出ている。



198円で売っていたが、今年には258円でも厳しい担当者という。同じチリ産でも生産が増えた大西洋サケの相場は上昇が緩やかで足元はトラウトより1割強安い。「トラウトの代わりに安定供給できる大西洋サケを提案することも増えている(商社)。一部のスーパーが大西洋サケの比率を高めている。

198円で売っていたが、今年には258円でも厳しい担当者という。同じチリ産でも生産が増えた大西洋サケの相場は上昇が緩やかで足元はトラウトより1割強安い。「トラウトの代わりに安定供給できる大西洋サケを提案することも増えている(商社)。一部のスーパーが大西洋サケの比率を高めている。

# 病害、供給量4割減

チリ産トラウトは色鮮やかで冷凍しても質が落ちにくいのが特徴で、刺し身商材として小売店や回転寿司店でおなじみだ。今年には現地で病害が起きているなど供給量が前年から4割ほど減少。小売店では「昨年は1000年に比べ約2割少ない。卸業者には「13年産の新米はいつでも安く手に入る。いまは当面の必要量を確保しておけばよい(米卸大手)」との意識が強い。

チリ産トラウトは色鮮やかで冷凍しても質が落ちにくいのが特徴で、刺し身商材として小売店や回転寿司店でおなじみだ。今年には現地で病害が起きているなど供給量が前年から4割ほど減少。小売店では「昨年は1000年に比べ約2割少ない。卸業者には「13年産の新米はいつでも安く手に入る。いまは当面の必要量を確保しておけばよい(米卸大手)」との意識が強い。

# 影響

木炭砕石工業協同組合) 要家の生コン会社は採算と値上げの背景を説明すが悪化。コストアップを受け入れる余地が小さく

木炭砕石工業協同組合) 要家の生コン会社は採算と値上げの背景を説明すが悪化。コストアップを受け入れる余地が小さく

# NY粗糖が反落

## 3カ月ぶり安値圏 世界生産落ち込まず

砂糖の国際価格が反落

砂糖の国際価格が反落

スクラップ商社の橋本アルミ)という。電力大手が配電設備への投資を控え、発電量が少ない状況が続く。銅の消費国である中国で需要が堅調。中国が高値で大量に買い、国内に出回るスクラップが少なくなっているとの声もある。

スクラップ商社の橋本アルミ)という。電力大手が配電設備への投資を控え、発電量が少ない状況が続く。銅の消費国である中国で需要が堅調。中国が高値で大量に買い、国内に出回るスクラップが少なくなっているとの声もある。

# 日経商品17種

11月17日

11月17日